

「IHE 放射線テクニカルフレームワーク第 19 版(2020 年発行) 医療従事者等向け和訳」の公開とご利用上の注意

日本 IHE 協会放射線企画委員会
共同議長 本田 憲業・江本 豊

IHE 放射線テクニカルフレームワーク第 19 版(IHE RAD TF Rev.19, 2020)医療従事者等向け和訳を日本 IHE 協会ホームページに公開しました。

この和訳は日本 IHE 協会認定技術者試験放射線部門試験の参考として、IHE RAD TF の理解のために使用できますが、以下の注意があります。

- 1) IHE RAD TF Rev.19, 2020 医療従事者等向け和訳で使用されている用語の和訳は、試験問題や技術的討議には使用されません。統合プロファイル名、アクタ名、トランザクション名、属性名は英文原語を覚えてください。
- 2) 2021 年の日本 IHE 協会認定技術者試験放射線部門試験問題は IHE RAD TF Rev.19, 2020 年版をもとに作成されますので、IHE RAD TF Rev 19 (2020) 英文原本が必要です。IHE のウェブの https://www.ihe.net/resources/technical_frameworks/#radiology から各自取得してください。

この IHE RAD TF Rev.19, 2020 医療従事者等向け和訳は通常の技術文書と異なり以下の特性をもっていますので、利用に際して ご留意をお願いします。

- 1) IHE テクニカルフレームワークに準拠したアプリケーションなどを機器に実装する技術者のために作られていません。
- 2) 想定する読書は以下です。
 - (ア) 機器への実装を行わないが、放射線部門システムを使用して業務を行う医療従事者など
 - (イ) 機器への実装を行わないが、放射線部門システムの構想や構成を定め、電子カルテとの情報連携を実現したい医療従事者など
 - (ウ) 機器への実装を行わないが、放射線部門システムの要求仕様を定めねばならない医療従事者など
- 3) 用語の和訳は、“英語発音のカタカナ表記”を極力避け、用語の意味を表す日本語

を使用して、読者間の用語意味の解釈違いを減らすことをめざしました。用語の和訳は一貫性(同じ英文用語が常に同じ和訳になる)を保つよう留意しました。

3) 和訳は原本を忠実に訳したもので、内容の正確性保持を重視しました。図、表は原則として和訳していません。

4) IHE RAD TF Rev.19, 2020 医療従事者等向け和訳は、上記の想定読者が IHE RAD TF の理解を深めるための参考資料であることを意図しています。